

平成26年7月11日
京都市立芸術大学

京都市立芸術大学の西京区における主な事業

1 美術

○ 京都市立芸術大学作品展

学部及び大学院修士課程の学生作品を一堂に集めた「作品展」を例年2月中旬に京都市立芸術大学及び京都市美術館で開催。

○ サマーアーツクール

平成18年度から実施。京都市民及びその周辺に在住する方を対象に、京都市立芸術大学の長い歴史の中で蓄積した専門的・総合的な芸術教育機能を活用し、社会にそのノウハウを提供するもので、専任教員が指導を行っている。実際の美術製作を体験してもらうことを目的として、教員が美術製作について教える講座。

○ 壁新聞「西京魅力探訪」

西京区民ふれあい事業実行委員会が実施する「環境パートナーシップ事業」の一環として企画された取組。デザイン専攻の学生が西京区民の皆様と協力して、西京区の学区を紹介する壁新聞「西京魅力探訪」を製作し、西京区役所／洛西支所をはじめ西京区内の様々なところで展示。

○ 風土・food 大原野

大原野の魅力発信事業である「風土・food 大原野」において、ポスター・チラシの制作及び似顔絵等のブース出展で協力。

○ なんやかんや大原野

農業従事者の高齢化や後継者不足が課題となる大原野の農家有志の団体である「なんやかんや大原野」と連携して、地域の魅力を発信するホームページ制作及び休耕田を活用した「福島ひまわり里親プロジェクト」を支援。

○ 境谷小学校レジデンス

地域の芸術振興活動として、近隣の境谷小学校と連携し、「境谷小レジデンス」を実施している。同事業では、小学校の空き教室をアトリエとして利用し、学生や卒業生が通年で滞在し芸術作品を制作し、子ども達と日常的な交流をしている。学生や卒業生に制作スペースを提供する支援事業であるとともに、子ども達にとって、日常的な鑑賞教育の場となっている。

また、学生や卒業生は、年数回、同小学校においてワークショップを行っており、そのワークショップには児童だけでなく、保護者や地域の方々も参加されており、地域交流、世代間交流の場にもなっている。

○ 作品販売ブース等の出店

西京区民ふれあいまつり，らくさいマルシェ等のイベントにおいて，学生作品の販売ブース等を出店。

○ ゆかたで go!

西京区民ふれあい事業実行委員会が実施する「環境パートナーシップ事業」の一環として企画された取組。デザイン専攻の学生がデザイン制作したゆかたを着用してエコ活動をPR。

2 音楽

○ 大学院オペラ等

京都市立芸術大学講堂においてオペラを開催。西京区地域力サポート事業として，近隣の桂坂学区，新林学区，大枝学区の皆様をゲネプロに御招待。同事業として地域行事へも出演。

○ ウェスティ音暦（おとごよみ）

地域への文化芸術の還元，地域文化への寄与，市民に対する良質な音楽の提供を目的として，大学の所在区にある西文化会館での演奏会を京都市西文化会館，京都市音楽文化芸術振興財団との共催により，地域への文化芸術の還元を目的として「ウェスティ音暦（おとごよみ）」と銘打った演奏会を年3回開催。

○ 依頼演奏等

実際の演奏活動の機会を増やすことにより，学生の技能向上を図るとともに，京都市立芸術大学の広報，演奏活動を通しての市民還元を行うことを目的として，西京区民ふれあいまつり，西総合支援学校の授業など，京都市及び京都市教育委員会の文化芸術事業を中心とした依頼事業に積極的に取り組んでいる。

3 日本伝統音楽研究センター

○ 公開講座等（伝音セミナー（前期・後期），でんおん連続講座）

日本伝統音楽研究センターが，活動成果の社会への提供や，研究成果を一般市民に分かりやすい形で伝えることを目的として，年3回程度の公開講座，年8回程度の小セミナー及び平成20年度からテーマを定めた前期・後期各10回の連続講座を開催している。

4 芸術資源研究センター

○ シンポジウム等

7月1日，創立記念式典及び芸術資源研究センター開設記念事業を実施しました。京舞井上流の井上安寿子氏による祝舞，能楽金剛流の金剛龍謹氏によるワークショップ，哲学者であり経営審議会委員の鷲田清一氏による講演などを実施